

第3期 久留米市地方創生総合戦略 全体像 [令和8 (2026) 年度～令和12 (2030) 年度]

人口ビジョン	基本的視点	基本目標	施策の方向性	施策項目	施策
<p>1 人口の現状分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総人口は、平成28(2016)年度の30万6,211人をピークに減少 ・自然動態は、出生数減少と死亡数増加により、マイナス幅が1,825人に拡大 ・社会動態は、転入数が転出数を上回っており、プラス傾向が継続 ・地域別では、福岡都市圏等への転出超過、県南地域からの転入超過 ・年代別では、日本人の男女ともに20～30代の若い世代が転出超過 ・外国人は、令和6(2024)年度に6,281人となり、10年間で約2倍に増加 <p>■久留米市の総人口</p> <p>2 人口の将来展望</p> <p>[前提条件]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国県市の施策により、人口動態に一定の改善が図られると仮定 ・合計特殊出生率が、令和42(2060)年までに0.1ポイント改善すると仮定 ・10代・20代の日本人の純移動率が、0.5%改善すると仮定 <p>[将来推計]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和12(2030)年：将来推計 294,044人 → 295,530人【1,486人増加】 ・令和17(2035)年：将来推計 286,876人 → 289,957人【3,081人増加】 ・令和42(2060)年：将来推計 241,654人 → 253,680人【12,026人増加】 <p>■人口推移のシミュレーション</p>	<p>1 人口減少や人口構造の変化の影響を見込んだまちづくり</p> <p>2 若者や女性にも選ばれる魅力あるまちづくり</p> <p>3 新たな価値と活力を生み出すまちづくり</p> <p>4 デジタル技術を活用したまちづくり</p> <p>5 地域内外の分野を越えた連携・協働のまちづくり</p> <p>6 SDGsの理念を踏まえたまちづくり</p>	<p>1 安心して働き、暮らせる地域をつくる</p> <p>【数値目標】(R7→R12) 住み続けたいと思う市民の割合 77.5% → 85.0%</p> <p>2 稼ぐ力を高め、地域経済を成長させる</p> <p>【数値目標】(R6→R12) 製造品出荷額 3,932億円 → 4,429億円 農業産出額 310億円 → 358億円</p> <p>3 久留米市への新しい人の流れをつくる</p> <p>【数値目標】(R6→R12) 大都市圏からの転入者数(5年間平均) 3,424人 → 3,600人 観光入込客数 535万人 → 600万人</p> <p>4 広域拠点の役割を果たす</p> <p>【数値目標】(R6→R12) 久留米広域連携中枢都市圏の圏域人口 44.7万人 → 43.6万人</p>	<p>(1) 魅力ある働き方、職場の創出</p> <p>(2) 安全・安心の暮らしづくり</p> <p>(3) ネットワーク型のコンパクトな都市の形成</p> <p>(4) 多様な人々が活躍・共生する地域社会の実現</p> <p>(5) 地域に愛着を持ち、地域で活躍する人材の育成</p> <p>(6) 競争力の高い地域産業づくり</p> <p>(7) 魅力と活力にあふれる農業の推進</p> <p>(8) 快適で暮らしやすい魅力的な拠点の形成</p> <p>(9) 文化芸術・スポーツ・歴史遺産の活用による地域活性化</p> <p>(10) 魅力を語りたくなる久留米イメージの創出・PR</p> <p>(11) 訪れたい・楽しみたい魅力の創出</p> <p>(12) 拠点都市機能の発揮と広域連携の充実強化</p>	<p>① 多様な人材確保のための雇用・就労の促進</p> <p>② 働きやすい職場環境の整備促進</p> <p>① ハード・ソフト両面からの災害対策の推進</p> <p>② 生活安全対策の充実</p> <p>① コンパクトな拠点市街地の形成</p> <p>② 快適で便利な交通環境の構築</p> <p>① ジェンダー平等の推進と女性活躍の促進</p> <p>② 市民活動・地域コミュニティの活性化</p> <p>③ 多文化共生の推進</p> <p>① こども・若者が健やかに成長できる環境の整備</p> <p>② 安心して生み育てられる環境の充実</p> <p>③ 未来につながる教育の推進</p> <p>① 地域企業の成長の支援</p> <p>② 新産業創出・創業支援の推進</p> <p>③ 企業誘致の推進</p> <p>① 農業の生産性・付加価値の向上</p> <p>② 農業で活躍する担い手づくり</p> <p>③ キラリと光る農業の魅力発信</p> <p>① 魅力的な中心市街地の創出</p> <p>② 拠点公園の整備・再生によるにぎわい創出</p> <p>① 多彩な文化芸術活動の促進</p> <p>② スポーツを活かした地域活性化</p> <p>③ 歴史遺産の保存・活用</p> <p>① 久留米の魅力を広めたい戦略的なプロモーション</p> <p>② 移住・定住を促す効果的な仕掛けづくり</p> <p>① まちのにぎわいの創出</p> <p>② 地域資源を活用した観光ブランディング</p> <p>① 高次都市機能の集積による拠点性の充実強化</p> <p>② 拠点都市機能の発揮による広域連携の推進</p>	<p>学生・若者の地元就職促進、企業の魅力発信、女性の就労相談・支援 高齢者・障害者の就労機会確保、外国人材受入れに関する国・県・関係団体との連携</p> <p>ワーク・ライフ・バランス促進、女性活躍の意識啓発・能力開発の機会提供 福利厚生充実支援、職業能力の向上支援</p> <p>流域治水の充実・推進、地域防災人材の育成、自主防災活動の活性化 迅速な被災状況把握・情報発信、誰もが安心して避難できる環境づくり</p> <p>セーフコミュニティ活動による安全・安心のまちづくり、協働による防犯活動の推進 消費生活の教育・啓発・相談体制の充実、こども・高齢者の交通事故防止</p> <p>拠点駅周辺の市街地整備、地域生活拠点の生活利便施設の更新・誘導 空き家・低未利用地を活用した居住誘導の推進</p> <p>持続可能な交通体系の形成、スマートインターチェンジの整備推進 生活支援交通の構築、官民連携やICTを活用した新たな移動手段の確保</p> <p>固定的性別役割分担意識の解消、ジェンダー平等の意識づくり 男女の均等な雇用機会と待遇の確保、まちづくりや地域活動での男女共同参画の促進</p> <p>市民活動促進の仕組みづくり、持続可能な市民活動の支援、まちづくり活動の支援 多様な人材の発掘・育成、様々な世代や多様な主体と連携する環境づくり</p> <p>生活・行政情報の多言語化、地域や学校等での日本語の学習支援 相談窓口の充実、相互理解や交流活動の促進</p> <p>こども・若者の意見表明と社会参画の機会確保、体験機会や相談支援の充実 居場所づくりの推進、出会いの機会創出や結婚支援の推進</p> <p>切れ目のない子育て支援の充実、幼児教育・保育サービスの充実 こども・若者・子育てを支え合う活動の促進</p> <p>学力の保障と向上に向けた総合的な取組の充実、ICTを活用した学びの充実 特色ある教育の実践、コミュニティスクールの充実</p> <p>地域経済をけん引する企業の成長支援 先端技術を活用した生産性向上等の経営力強化の支援</p> <p>バイオ産業の拠点化推進、オープンイノベーションによるものづくり企業支援 若年層向け創業支援の充実・強化、創業ネットワークの推進</p> <p>産業集積の受け皿となる新たな産業団地の整備 雇用創出や経済波及効果につながる成長分野企業の誘致推進</p> <p>スマート農業や気候変動に対応した農業の推進、農業生産基盤の整備・保全 農地の利活用促進、農産物の高付加価値化や6次産業化による農業経営の多角化</p> <p>基幹的な担い手の経営力強化、次世代の担い手の育成・確保 農福連携や外国人材の活用による多様な人材確保</p> <p>農業体験など関係人口の拡大、農業都市をめぐる魅力発信によるブランド力向上 地産地消による久留米産農産物の魅力発信と愛着醸成</p> <p>JR久留米駅や西鉄久留米駅周辺の拠点機能強化、歩きたくなる都市空間の形成 住環境やオフィス環境の充実、多様な主体と連携するエリアマネジメントの推進</p> <p>広域的な求心力を備えた正源氏公園の整備、まちづくりの拠点となる公園の再整備 街路樹ネットワークの推進</p> <p>文化施設の活用や文化芸術団体・地域・学校と連携した鑑賞・体験機会の充実 文化芸術を通じた交流やつながりづくりの促進、文化芸術の効果的な情報発信</p> <p>身近にスポーツを楽しむ機会の充実、ジュニアアスリートの育成・支援 スポーツコンベンション誘致による地域活性化</p> <p>史跡筑後国府跡の整備・活用、歴史遺産ストーリーによる筑後川遺産登録の推進 歴史遺産が持つ魅力・価値の効果的な情報発信</p> <p>インナープロモーションの展開、若い世代に広がるデジタルコンテンツの充実 ふるさと大使等の活用</p> <p>様々な媒体や手法を通じた久留米の情報に触れる機会の提供 移住・定住支援・相談プログラム提供、福岡都市圏をターゲットとした移住促進強化</p> <p>中心市街地や地域商業エリアでの商業機能の維持・活性化 MICE誘致の推進・受入環境の整備、集客交流イベントによるにぎわいの創出</p> <p>地域資源を活かした魅力的な観光コンテンツの充実、インバウンド誘客の推進 デジタル化・DX推進による観光分野の受入環境・基盤づくり</p> <p>スマートインターチェンジなどの地域の核づくり、学術研究機能の活用・連携 産業基盤・高度医療などの機能集積を活かした広域求心力の強化</p> <p>地域全体の成長・発展に向けた近隣自治体との連携の推進 連携中枢都市圏での人口や社会・経済活力の維持に資する取組の推進</p>
<p>人口目標</p> <p>令和12(2030)年度末人口 29.5万人</p>					